

札幌トレセン大会報告書

2017. 2. 6

札幌4種技術委員会

1、大会名・日程 北海道トレセンU-11 冬季交流大会 2017年2月4～5日 北村土里夢他
2、参加選手（ ）内は所属チーム 柴田 陸空（藻南）藤井 蓮（JSN）戸嶋 咲登、長倉 鉄次郎、羽二生 隼斗（SSS）飯野 珠央、武田 悠聖（アンフィニ）木村 晟明、水口 陽彩（DENOVA）須摩 燿平、小宮 真輝、須田 亮哉、三輪 英太、成澤 晏士（ソサドール）雪田 光陽（AGGRE）北村 友進（DENOVA）大岡 日向（BONITA） 計17名
3、引率者名 表 閔徳（DENOVA）、津元 靖史（アンフィニ）、古賀 亮太（フィールズ）
4、大会結果 2月4日（土） 北海道女子U12 ●1-3（得点；水口） 旭川 ○2-0（得点；雪田・柴田） 千歳 ○3-0（得点；武田・飯野・雪田） 根室 ○5-1（得点；武田・須磨・羽二生・水口×2） 予選1位突破 2月5日（日） 室蘭 ●0-1 北北海道 △1-1（得点；三輪） 函館 ○1-0（得点；須田） 南北海道 △1-1（得点；飯野） 1位リーグ3位
5、成果と課題 成果 攻撃 幅と厚みをもってコートを広く使いながらゴールを目指す事ができた。 守備 前線からプレッシャーをかけ、ひとりひとりが積極的にボールを奪う事にチャレンジできた。 課題 攻撃 8人制にしては少し狭いコートの中でもっと判断を早く正確にする必要があった 狭い局面で無理やり前に進む場面が多かったため、チャレンジを持ちながらも判断を変えたり、やり直しができればよかった。 守備 ポジショニングをもっとシビアにとる事でもう少しボールを奪う回数を増やす事ができた。 ファーストDFやボールの状況にあわせてのポジショニングを意識していきたい。